



杉並区善福寺 3-3-5
杉並区立桃井第四小学校
2024年(令和6年) 1月31日
NO. 563

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/momo4shou/>

「節目の時期を迎えて」

副校長 高橋 伸明

早いもので、令和6年がスタートして1ヶ月が経ちました。寒さや乾燥が気になる時期でもあります。風邪や感染症に負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしたいと思います。

さて、2月3日は節分です。節分は本来、季節の変わり目の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指します。その中で立春が1年の初めと考えられることから、節分と言えば立春の前日を示すものとなってきたそうです。

また、節分に豆まきをよくしますが、季節の変わり目に邪が入りやすいと思われていて、新しい春を迎える前に邪気を払って幸福を呼び込もうとする願いがありました。また、病気や不幸と言った災いを招くのが鬼だと考えられており、家の内側から外に向かって「鬼は外」と言いながら、豆をまく習慣が生まれました。病気などだけではなく、「心の中の意地悪な気持ちや苦しい気持ち、わがままな気持ち」など、心の中にいる鬼を追い払い、みんなにとって幸せな一年になることを願っています。

豆以外にも節分になると食べられるものがあります。その一つが太巻き寿司「恵方

巻」です。「縁を切る」に通じないように、一本巻きに巻いた恵方巻を、その年の恵方(今年は“東北東”)を向き、無言で1本食べることが正しい作法です。その他にも、いわし、そば、けんちん汁など節分の食べ物はたくさんあります。なぜ食べるのか意味をそれぞれ調べてみると、新年を迎える思いや願いがよく分かります。

3学期の2月は、子供たちにとって次の学年や中学校への進級・進学という4月の節目を迎えるための心構えをつくる時期でもあります。これまでの自分、これからの自分のイメージをしっかりとってほしいです。人が成長するには、過去・現在・未来の自分を意識できるようになることは欠かせません。それができることにより、これから出会う人々や出来事に対し、柔軟に対応したり、たとえ失敗した時でも早く立ち直ったりできると考えます。

2月は他の月に比べ日数も少なく、あっという間に過ぎてしまいます。1日1日を大事に過ごしてほしいと思います。



善福寺公園正月マラソン



1月13日（土）善福寺公園で正月マラソンを開催しました。
一人一人が全力で走りました。頑張った子供たちの感想などを紹介します。

1年生

- スタートして、すこしたったところどころじゃったけれど、すぐに立ち上がって、がんばってはいりました。
- くるしかったけれど、ぜん力ではしれてよかったです。
- らい年は、もっとれんしゅうしてはやくはしりたいです。

2年生

- 去年よりは、きろくが下がってしまいましたが、今年も楽しく思い出にのこるマラソン大会になりました。来年もがんばって走りきりたいです。
- みんなにおうえんされたから、さいごまで走りきれてうれしかったです。
- 家ぞくがおうえんしてくれてはやくになりました。1年生のときより、体力がついた感じがしました。



3年生

- 家族が見に来てくれて、応援してくれたので速く走ることができて嬉しかったです。
- 冬休みに毎日練習したおかげで、去年よりいい記録で走ることができました。努力してよかったです。
- 走る前はとても緊張しました。でも練習の成果を出しきれました。来年も、人と比べるのではなくて、自分の記録と比べて走り抜きたいです。

4年生

- 2周は大変だったけど、がんばったから目標を達成できました。最後まで全力で走り切れてうれしかったです。
- とても疲れて一瞬あきらめようかなとも思ったけど、あきらめなかったからなんとかゴールまで行けました。本当にあきらめないっていいことだなと思いました。
- 冬休み中にマラソンの練習をたくさんしました。4年生になったので、上池を2周走りました。走る距離は2倍になったけど、きつさは3倍ぐらいに感じました。

5年生

- 朝マラソンや冬休みの宿題のマラソンは大変だったけど、たくさん走って体力をつけることができ、本番も悔いなく走り切ることができてよかったです。
- 足の感覚がなくなるまで走りました。順位は下がってしまったけれど、それでもいいなと思いました。6年生では、もっと高い順位を目指したいです。
- 走っているときにたくさんの声援が聞こえてきて、嬉しかったです。その声援が大きな力になりました。最後まで走りきることができたので、あきらめなくてよかったなと思いました。

6年生

善福寺公園マラソンでは、走るだけでなく、友達の応援にも一生懸命取り組みました。様々な関わり方を通して、小学校生活最後の善福寺公園マラソン大会を終えることができました。また、運営をしてくださった地域や保護者の方々のおかげで、マラソン大会を行うことができたことにも改めて気付きました。子供たちは、「する・見る・支える・知る」というスポーツとの多様な関わり方を善福寺マラソンの中で学びました。この経験を機に、生涯にわたりスポーツと関わっていこうとする姿勢が身に付いていくことを期待しています。



令和5年度教育調査について

教務部

<保護者調査>

令和5年度「杉並区教育調査アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。
WEB調査3年目となり今年度からは教育委員会の直接配信となりました。また、昨年度までは児童対象の調査を行っていましたが、今年度より調査対象は教員と保護者となりました。回答率は52.5%（児童588名に対して293件）でした。学校配信だったWEB調査2年目の昨年の回答率は83.8%（1年目は88.2%）でした。ご理解とご協力に感謝申し上げますと共に回答率をもう少し上げ、保護者の皆様のご意見を反映させたいと考えています。

肯定率とは「とてもそう思う、ややそう思う」のどちらかに○を付けた割合です。区の算出による肯定率①の他に、回答不能率等を除いた本校独自の肯定率②も算出いたしました（※）。未解答や回答不能が少しでも少なく回答できるよう学校からの情報提供に努めてまいります。

肯定率②が80%以上の項目は教育活動の成果が認められたととらえ、肯定率が60%未満の項目は改善を進めてまいります。

【成 果】

- ・肯定率が80%を超えている項目は、「⑭子どもは、学校生活を楽しんでいる」が87.6%、「①」「②」「④」についても高い数字となりました。地域の方々の協力を得ながら教育活動を進めてきたことが、学校生活の充実につながっている一因と考えます。また、「⑨」「⑩」各連絡の発信・オンライン化も80%を超えました。

【課 題】

- ・「③人権教育」（肯定率②約50%）特別の教科道徳を中心に人権年間計画を立てて、全教科で行っています。
- ・「⑤小中一貫教育」（肯定率②約44%）小中一貫教育では三谷小・井草中と連携し教員の授業研究会や部活体験会（6年）等を行っています。
- ・「⑧いじめ対応」（肯定率②約55%）これまでも本校では継続的に年3回のアンケート調査や教員等の見取りによる情報共有を行い迅速な対応を行ってきました。今後も全教職員の組織的な対応に努めてまいります。
- ・「⑬特別支援学校との交流」（肯定率②約43%）本校に特別支援学級がないため、低い数値となっていますが、特別支援学校と副籍交流等を行っています。

【課題】の4項目については、未回答や回答不能の割合が他の項目と比べると高い数値が見られました。

- ・認定不能率（未回答・回答不能の割合）

「③人権教育」9.5% 「⑤小中一貫教育」12.7% 「⑧いじめ対応」6.7% 「⑬特別支援学校との交流」19.0%

今行っている実践指導を充実させるとともに、校外に向けた周知にも力を入れていきます。

これからも保護者の皆様からのアンケート結果を真摯に受け止め、指導の充実に努めてまいります。

	保護者への質問項目	※肯定率①	※肯定率②
①	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	68.0	85.0
②	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	66.5	85.1
③	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	26.4	50.0
④	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	59.9	80.2
⑤	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	24.6	44.9
⑥	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	64.1	79.8
⑦	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	45.4	74.6
⑧	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	30.6	55.1
⑨	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	65.1	81.9
⑩	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	77.8	89.8
⑪	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわかり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	50.7	74.2
⑫	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	37.7	66.5
⑬	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	20.8	43.4
⑭	子どもは、学校生活を楽しんでいる	76.8	87.6
⑮	学校は、児童と幼児の交流、保護者への理解啓発等、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を意識した取組を積極的に行っている	38.7	69.2

(単位%)

生活目標（中学年）

3年生

3 学期は、学年の目標 G・Y・N の「Y」 勇気、「N」 仲間、を意識して過ごしています。一人ひとり、苦手なことや新しいことに挑戦する勇気をもって学習に取り組んだり、友達への言葉遣いや休み時間と授業の切り替えなど、周りの友達のことを考えて行動したりするなど、一日一日を大切にしていって4 年生に向けての準備を進めていきます。

4年生

「自分も相手も大切にできる4年生」という学年目標を合言葉に、自分たちの生活を振り返りながら毎週的生活目標を決めています。めりはりのある行動や時間の使い方、健康面などだんだんと5年生になる日が近づいてきているからこそ基本的なことをもう一度大切にしようとする意識が高まっているように思います。

2月の行事予定

日	曜	行 事
1	木	特別時程 4 時間 4 年 2 組、3 組 5 時間授業
2	金	朝学習 1 ～ 3 年生 4 時間授業 4 年生 5 時間授業 5、6 年 6 時間授業
3	土	学校公開 朝学習
4	日	
5	月	児童朝会 1、2 年生 4 時間授業 ㊦
6	火	朝学習
7	水	特別時程 4 時間授業 校庭開放（下校後～15：55）
8	木	朝読書 CS
9	金	特別時程 4 時間授業
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	朝学習 委員会 1 ～ 4 年生 5 時間授業 ㊦
14	水	体育朝会（2 4 6 年）朝学習（1 3 5 年） 校庭開放（下校後～15：55）
15	木	朝読書 1 2 年生 4 時間授業 3 ～ 6 年生 5 時間授業

日	曜	行 事
16	金	体育朝会（1 3 5 年）朝学習（2 4 6 年） 新 1 年生保護者会 1 年生 4 時間授業
17	土	
18	日	
19	月	児童朝会 クラブ ㊦
20	火	朝学習
21	水	たてわり集会（1 ～ 5 年） 朝学習（6 年） 校庭開放（下校後～15：55）
22	木	朝読書 校外学習（6 年） 1 ～ 5 年生 4 時間授業
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	児童朝会 保護者会 5 6 年 ㊦
27	火	児童集会 保護者会 3 4 年
28	水	朝学習 6 年生を送る会 全学年 5 時間授業 校庭開放（下校後～15：55）
29	木	たてわり集会 保護者会 1 2 年

㊦はももしスマイル相談日

学校運営協議会 8 日(木) 18：00～
※委員と学校管理職のみで行います。

※避難訓練は、児童に予告しないで行うため 行事予定表には明記していません。

